

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-02			
施設名	熊野前ひろば館					
所在地	東尾久五丁目9番3号(男女平等推進センター併設)					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	平成9年	347,575	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成9年3月29日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成9年4月1日		職員数	13	0	
構造	RC造		階層	地上3階、地下2階		
面積	敷地面積		男女平等推進センター敷地内(1,031.56㎡)			
	延床面積		598.65㎡			
設置目的・経緯	児童福祉の増進					
関連部署	総務企画課、区民施設課					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ		
駐輪場の状況	30台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	年間利用者数(人)	44,817	42,533	15,946	20,907	25,000
	開館日数(日)	293	264	226	293	293
	学童クラブ定員(人)(4/1)	50	50	50	50	50
	学童クラブ在籍者数(人)(4/1)	77	80	33	19	23
に指定 等 管理 費						

備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を設け事業を実施した。

III 財務諸表

(単位:千円)

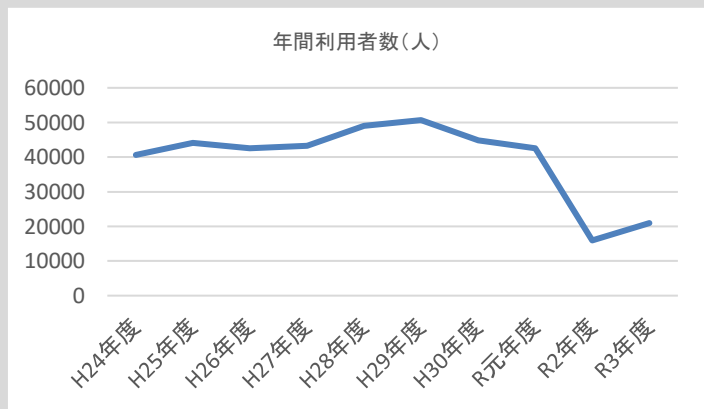
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	行政費用	給与関係費	65,637	73,013	7,376	地方税等	0	0	0
	物件費	6,102	6,989	887	国庫支出金	6,728	6,753	25	
	維持補修費	17,023	229	▲ 16,794	都支出金	9,844	7,938	▲ 1,906	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	941	941	
	補助費等	16	249	233	使用料及び手数料	102	277	175	
	減価償却費	10,006	10,006	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	16,674	15,909	▲ 765	
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,223	5,870	▲ 1,353	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 89,596	▲ 80,447	9,149	
	その他行政費用	263	0	▲ 263	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	106,270	96,356	▲ 9,914	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 89,596	▲ 80,447	9,149	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 89,596	▲ 80,447	9,149	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,289	3,324	35
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	121,001	110,994	▲ 10,007	賞与引当金	3,289	3,324	35	
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	356,857	356,857	0	固定負債	37,203	37,738	535
		建物減価償却累計額	▲ 235,857	▲ 245,863	▲ 10,006	特別区債	0	0	0
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	37,203	37,738	535
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	40,492	41,062	570		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	80,509	69,932	▲ 10,577		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	80,509	69,932	▲ 10,577		
資産の部合計	121,001	110,994	▲ 10,007	負債及び正味財産の部合計	121,001	110,994	▲ 10,007		

備考 令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金を計上している。令和2年度の行政コストには、空調設備の大規模改修に係る費用を、行政収入には、当該大規模改修に係る国庫補助を計上している。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	61	63	66	68.9	
	1㎡当たりコスト(円)	157,347	160,656	177,516	160,955	
	経費に占める収入の割合(%)	1	1	16	16.5	
	開館1日当たりコスト(円)	321,488	364,307	470,221	328,860	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,102	2,261	6,664	4,609	
	人にかかるコストの割合(%)	84	85	69	81.9	
備考	令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 53,527	45,200	30,956	19,300	25,000
		実績値 44,817	42,533	15,946	20,907	25,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	児童に対する豊かな遊びの提供の場、切れ目ない地域の子育て拠点					
現状・課題	○地域との交流を積極的に行い、魅力的なプログラムを実施する必要がある。 ○2号事業ひろば館で唯一の多目的室を活用したひろば館運営が必要である。 ○子育て中の保護者の悩み等を把握し、地域の子育て拠点としての役割を果たす必要がある。 ○男女平等推進センターと一体になって施設の機能・性能の保全に努めながら、修繕を計画的に実施していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○積極的に地域との交流を行ったり、多目的室を活用したJUMP-JAM(ジャンジャン)等、体を動かすプログラムの充実や中高生の居場所を提供することで、児童、生徒の利用増に繋がる取組を進めていく。 ○保護者向け講座を充実させ、保護者同士の交流が図れるように心掛けていく。 ○保守点検や遊具安全点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館を運営し、利用者数は回復傾向である。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-01		
施設名	花の木ひろば館				
所在地	荒川五丁目50番5号(荒川保育園併設)				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年 45,804			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年10月24日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月1日	職員数	16	0	
構造	RC造	階層	地上4階		
面積	敷地面積	荒川保育園敷地内(1,065.22㎡)			㎡
	延床面積	918.85㎡			㎡
設置目的・経緯	児童福祉の増進				
関連部署	保育課、区民施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> トイレ	
駐輪場の状況	5台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブを運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ利用児童				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	年間利用者数(人)		40,628	40,444	27,180	32,091
開館日数(日)		293	264	226	293	293
学童クラブ定員(人)(4/1)		60	60	60	60	60
学童クラブ在籍者数(人)(4/1)		36	34	42	61	68
に指定 等管理 費理						

備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を設け事業を実施した。

III 財務諸表

(単位:千円)

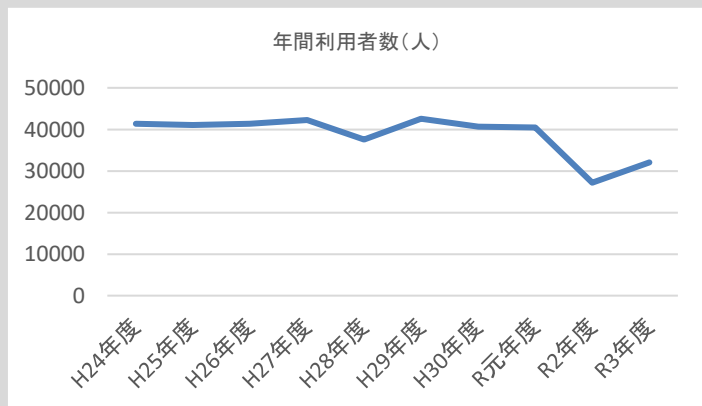
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費	67,751	79,514	11,763	地方税等	0	0
	物件費	8,887	9,090	203	国庫支出金	2,925	12,836	9,911
	維持補修費	353	2,264	1,911	都支出金	3,564	14,789	11,225
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	2,475	2,475
	補助費等	65	237	172	使用料及び手数料	14	12	▲2
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	6,503	30,112	23,609
	賞与・退職給与引当金繰入額	7,455	6,393	▲1,062	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲78,008	▲67,386	10,622
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	84,511	97,498	12,987	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲78,008	▲67,386	10,622
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲78,008	▲67,386	10,622
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	3,395	3,620
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	3,395	3,620	225
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	45,804	45,804	0	固定負債	38,401	41,098	2,697
	建物減価償却累計額	▲45,804	▲45,804	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	38,401	41,098	2,697
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	41,796	44,718	2,922
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲41,796	▲44,718	▲2,922
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	▲41,796	▲44,718	▲2,922
	資産の部合計	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0

備考 施設内の空調機の故障に伴い、取替工事を実施したことにより維持補修費が増加している。令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金を計上している。

指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	86,014	97,107	91,975	106,109	
	経費に占める収入の割合(%)	0	1	8	30.9	
	開館1日当たりコスト(円)	269,741	337,981	373,942	332,758	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,945	2,206	3,109	3,038	
	人にかかるコストの割合(%)	88	90	89.0	88.1	
備考	令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 42,760	41,200	27,860	32,900	39,000
		実績値 40,628	40,444	27,180	32,091	39,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	児童に対する豊かな遊びの提供の場、切れ目ない地域の子育て拠点					
現状・課題	<p>○地域との交流を積極的に行い、魅力的なプログラムを実施する必要がある。</p> <p>○区内で唯一の木工室や読書コーナー等がある花の木ひろば館の施設の機能を活かしたひろば館運営が必要である。</p> <p>○子育て中の保護者の悩み等を把握し、地域の子育て拠点としての役割を果たす必要がある。</p> <p>○施設及び設備の老朽化により、改修等が必要な箇所がある。将来的にふれあい館への移行を見据えながら、施設の機能・性能の保全に努め、修繕を計画的に実施していく必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○積極的に地域との交流を行ったり、木工室や読書コーナー等、花の木ひろば館の施設の機能を活かし、児童にとって魅力的な事業を実施し、児童の利用増に繋がる取組を進めていく。</p> <p>○保護者向け講座を充実させ、保護者同士の交流が図れるように心掛けていく。</p> <p>○日常点検や保守点検を有効活用し、危険箇所を事前に把握し、利用者が安心して利用できる環境を提供していく。</p>					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館を運営し、利用者数は回復傾向である。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-03			
施設名	西日暮里二丁目ひろば館					
所在地	西日暮里二丁目32番25号(ひぐらし小学校敷地内)					
部課名	子ども家庭部児童青少年課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)			
	建築	平成28年	289,008	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	平成28年4月13日		区職員	その他		
供用開始年月日	平成28年4月18日		職員数	17	0	
構造	鉄骨造		階層	地上3階		
面積	敷地面積			562.75m ²	m ²	
	延床面積			833.74m ²	m ²	
設置目的・経緯	児童福祉の増進					
関連部署	区民施設課、教育施設課					
根拠法令等 設置条例	荒川区区民ひろば館条例・同施行規則 荒川区学童クラブの運営に関する条例 等					
駐車場の状況	無	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ		
駐輪場の状況	30台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	直営	-	期間	-	から まで
事業内容	地域の子育て支援・児童健全育成の拠点として、居場所の提供・様々な事業の実施により、乳幼児・小中高生の心身の発達支援を行うとともに、子育て家庭と保護者が抱える問題の発生予防及び早期発見に努める。また、館内において学童クラブ及び放課後子ども教室を運営している。				
対象者	0歳～18歳未満の児童及び乳幼児の保護者、学童クラブ・にこにこすくーる利用児童				
運営時間等	運営時間	午前9時30分～午後6時(学童クラブは午前8時15分～午後7時)			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	年間利用者数(人)	60,694	50,746	28,716	42,266	-
	開館日数(日)	293	264	226	293	-
	学童クラブ定員(人)	80	80	80	80	80
	学童クラブ在籍者数(人)(4/1)	80	79	57	66	80
に指定等管理						

備考 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員を設け事業を実施した。

III 財務諸表

(単位:千円)

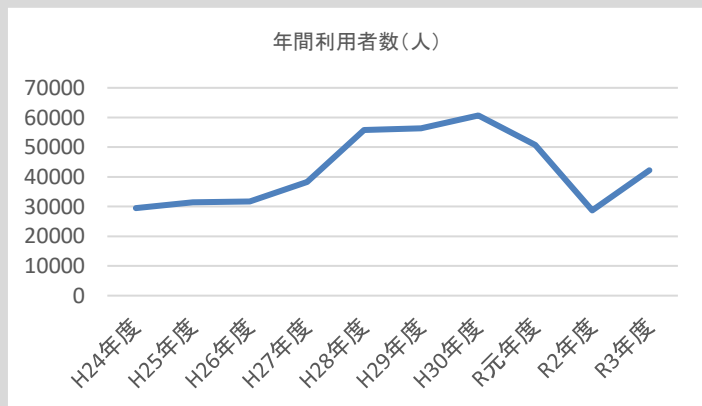
行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	行政費用	給与関係費	85,860	79,514	▲ 6,346	地方税等	0	0	0
	物件費	9,586	8,685	▲ 901	国庫支出金	4,682	13,044	8,362	
	維持補修費	201	1,346	1,145	都支出金	7,181	16,546	9,365	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	2,848	2,848	
	補助費等	21	603	582	使用料及び手数料	26	22	▲ 4	
	減価償却費	9,772	9,772	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	11,889	32,460	20,571	
	賞与・退職給与引当金繰入額	9,448	6,393	▲ 3,055	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 102,999	▲ 81,346	21,653	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	114,888	113,806	▲ 1,082	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 102,999	▲ 81,346	21,653	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 102,999	▲ 81,346	21,653	
貸借対照表	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	4,303	3,620	▲ 683
		不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	261,674	251,902	▲ 9,772	賞与引当金	4,303	3,620	▲ 683	
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
		建物	271,447	271,447	0	固定負債	48,665	41,098	▲ 7,567
		建物減価償却累計額	▲ 9,772	▲ 19,544	▲ 9,772	特別区債	0	0	0
		工作物等	0	0	0	退職給与引当金	48,665	41,098	▲ 7,567
		工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	52,968	44,718	▲ 8,250		
建設仮勘定	0	0	0	正味財産	208,706	207,184	▲ 1,522		
その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	208,706	207,184	▲ 1,522		
資産の部合計	261,674	251,902	▲ 9,772	負債及び正味財産の部合計	261,674	251,902	▲ 9,772		

備考 令和4年度の総合プラン委託化に向け、建物内設備の一部の小規模改修等を行ったため、維持補修費が増加している。令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金及びにこにこすくーるに係る都補助金を計上している。

指標		H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	4	7	
	1㎡当たりコスト(円)	123,047	116,714	137,798	136,501	
	経費に占める収入の割合(%)	2	4	10	28.5	
	開館1日当たりコスト(円)	35,013	36,859	50,835	38,842	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,690	1,918	4,001	2,693	
	人にかかるコストの割合(%)	85	94	83.0	75.5	
備考	令和3年度から、行政収入に学童クラブ保育料、学童クラブに係る国・都補助金及びにこにこすくーるに係る都補助金を計上することとしたため、経費に占める収入の割合が増加している。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名: ふれあい館整備ニュープラン)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	年間利用者数	目標値 56,866	61,200	37,729	34,800	
		実績値 60,694	50,746	28,716	32,900	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他(総合プランを委託化(令和4年度から))					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	児童に対する豊かな遊びの提供の場、切れ目ない地域の子育て拠点					
現状・課題	○令和3年度末をもって、ひろば館機能が廃止となったことから、令和4年度に開設したひぐらしふれあい館に児童事業の引き継ぎを行い、地域の子育て拠点としての役割を今後につなげていく必要がある。 ○令和4年度から総合プランが委託化されたため、直営のノウハウ等、委託事業者への引き継ぎを丁寧に行っていく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○児童事業プログラムや児童との関わり方だけでなく、これまで培った地域とのつながりもしっかりと引き継いでいく。 ○隣接するひぐらし小学校と調整し、校内のスペースの有効活用及び体験学習等の充実について検討するなど、総合プランを推進していく。					
議会、利用者等からの意見						



新型コロナウイルス感染症対策を行いながら館を運営し、利用者数は回復傾向である。

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-04		
施設名	二日小学童クラブ				
所在地	東日暮里六丁目19番12号				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	平成25年	104,992	国・都	区債
	増改築①	令和3年	25,520	24,000	一般財源
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	令和3年3月12日		区職員	その他	
供用開始年月日	令和3年4月1日		職員数	6	
構造	鉄骨造		階層	地上2階	
面積	敷地面積			536	m ²
	延床面積			435	m ²
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日本デイケアセンター	期間	令和3年4月1日 令和6年3月31日	から まで
事業内容	保護者の就労等により、昼間家庭において、適切な保護を受けることができない小学校在学児童に対し、適正な遊びと生活の場を提供する。				
対象者	保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けることができない荒川区に居住する小学校に在学する児童				
運営時間等	運営時間	午前8時15分から午後19時まで			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	学童クラブ定員(人) (4/1)					90
学童クラブ在籍者数(人) (4/1)					76	79
に指定 等管理 費用	人件費				21,036	21,869
	運営費				2,945	3,044

備考 保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在籍児童数は増加している。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費		0		地方税等		0
物件費			27,507		国庫支出金		11,840	
維持補修費			0		都支出金		12,650	
扶助費			0		分担金及び負担金		3,099	
補助費等			0		使用料及び手数料		0	
減価償却費			3,677		その他		0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0		行政収入合計(a)	0	27,589	0
賞与・退職給与引当金繰入額			0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲ 3,595	0
その他行政費用			0		金融収支差額(d)		0	
行政費用合計(b)		0	31,184	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲ 3,595	0
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲ 3,595	0	
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済		0		還付未済金		0	
	不納欠損引当金		0		特別区債		0	
	その他の流動資産		0		賞与引当金		0	
	有形固定資産		680,564		その他の流動負債		0	
	土地		584,010		固定負債	0	0	0
	建物		104,991		特別区債		0	
	建物減価償却累計額		▲ 8,437		退職給与引当金		0	
	工作物等		2,973		その他の固定負債		0	
	工作物等減価償却累計額		▲ 2,972		負債の部合計	0	0	0
無形固定資産		0		正味財産	0	680,564	0	
建設仮勘定		0		正味財産の部合計	0	680,564	0	
その他の固定資産		0		負債及び正味財産の部合計	0	680,564	0	
資産の部合計	0	680,564	0					

備考 行政コストの大部分を、学童クラブ運営のための委託料等の物件費が占めている。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	10.6	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	-	71,687	
	受益者負担比率(%)	-	-	-	9.9	
	利用児童1人当たりの年間コスト(円)	-	-	-	410,316	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	<input checked="" type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他() <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、利用者の需要は高くなっている。					
現状・課題	<p>○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質を担保する必要がある。</p> <p>○放課後子ども総合プラン(一体型)推進の観点から、小学校の余裕教室の状況や、学童クラブ需要の推移等を注視し、小学校校舎内への移転を検討する必要がある。</p> <p>○利用児童の安全・安心な保育環境を確保するため、計画的な点検・大規模改修を行うとともに、施設、設備等の突発的な不具合等に対して、迅速に対応する必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○実績審査及び日誌等の確認により、職員配置やプログラム内容等を把握し、必要に応じて指導を行っていく。</p> <p>○長期的な学童クラブ需要の推移を踏まえ、今後の建物の在り方について検討を進めていく。</p> <p>○定期的な点検及び施設職員による日常点検により現状を把握し、計画的な修繕を行っていく。</p>					
議会、利用者等からの意見						

令和4年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S10-02-05		
施設名	南千住六丁目学童クラブ				
所在地	南千住六丁目68番7号				
部課名	子ども家庭部児童青少年課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	令和3年 231,847	130,000		
	増改築①				
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	令和3年2月26日		区職員	その他	
供用開始年月日	令和3年4月1日		職員数	6	
構造	鉄骨造		階層	地上2階	
面積	敷地面積			421	m ²
	延床面積			436	m ²
設置目的・経緯	児童の健全な育成を図る				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	学童クラブの運営に関する条例、学童クラブの設備及び運営の基準に関する条例等				
駐車場の状況	無	バリアフリー	エレベーター	● トイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社マミーインターナショナル	期間	令和3年4月1日 令和8年3月31日	から まで
事業内容	保護者の就労等により、昼間家庭において、適切な保護を受けることができない小学校在学児童に対し、適正な遊びと生活の場を提供する。				
対象者	保護者の就労等により、放課後に適切な保護を受けることができない荒川区に居住する小学校に在学する児童				
運営時間等	運営時間	午前8時15分から午後19時まで			
	休日	日曜日、祝祭日、年末年始			

施設基本データ等		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度(見込み)
	学童クラブ定員(人) (4/1)					100
学童クラブ在籍者数(人) (4/1)					85	106
に指定 等管理 費	人件費				29,482	28,909
	運営費				3,750	3,999

備考 保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、在籍児童数は増加している。

III 財務諸表

(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R2年度	R3年度	差額	勘定科目	R2年度	R3年度	差額
	行政費用	給与関係費		0		地方税等		0
物件費			38,338		国庫支出金		15,088	
維持補修費			0		都支出金		15,856	
扶助費			0		分担金及び負担金		3,640	
補助費等			0		使用料及び手数料		0	
減価償却費			10,093		その他		0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額			0		行政収入合計(a)	0	34,584	0
賞与・退職給与引当金繰入額			0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	0	▲ 13,847	0
その他行政費用			0		金融収支差額(d)		▲ 23	
行政費用合計(b)		0	48,431	0	通常収支差額(c)+(d)=(e)	0	▲ 13,870	0
特別費用(g)		0		特別収入(f)		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	0	▲ 13,870	0	
貸借対照表	流動資産				流動負債			
	収入未済		0		還付未済金		0	0
	不納欠損引当金		0		特別区債		0	0
	その他の流動資産		0		賞与引当金		0	0
	有形固定資産		237,086		その他の流動負債		0	0
	土地		0		固定負債	0	0	0
	建物		247,179		特別区債		0	0
	建物減価償却累計額		▲ 10,093		退職給与引当金		0	0
	工作物等		0		その他の固定負債		0	0
	工作物等減価償却累計額		0		負債の部合計	0	0	0
無形固定資産		0		正味財産	0	237,086	0	
建設仮勘定		0		正味財産の部合計	0	237,086	0	
その他の固定資産		0		負債及び正味財産の部合計	0	237,086	0	
資産の部合計	0	237,086	0					

備考 行政コストの大部分を、学童クラブ運営のための委託料等の物件費が占めている。

	指標	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	-	-	-	4	
	1㎡当たりコスト(円)	-	-	-	110,984	
	受益者負担比率(%)	-	-	-	8	
	利用児童1人当たりの年間コスト(円)	-	-	-	569,776	
備考						

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度(見込み)
	目標値 実績値					
施設運営の方向性	● 転用・多目的化 ● 現状維持	● 民営化 ● その他()	● 他施設との統合	● 廃止		
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	保護者の就労状況等の社会状況の変化に伴い、利用者の需要は高くなっている。					
現状・課題	<p>○保育の質の担保及び魅力的な活動プログラムを実施するため、職員の資質を担保する必要がある。</p> <p>○放課後子ども総合プラン(一体型)推進の観点から、小学校の余裕教室の状況や、学童クラブ需要の推移等を注視し、小学校校舎内への移転を検討する必要がある。</p> <p>○利用児童の安全・安心な保育環境を確保するため、計画的な点検・大規模改修を行うとともに、施設、設備等の突発的な不具合等に対して、迅速に対応する必要がある。</p>					
課題に対する現時点での考え	<p>○実績審査及び日誌等の確認により、職員配置やプログラム内容等を把握し、必要に応じて指導を行っていく。</p> <p>○長期的な学童クラブ需要の推移を踏まえ、今後の建物の在り方について検討を進めていく。</p> <p>○定期的な点検及び施設職員による日常点検により現状を把握し、計画的な修繕を行っていく。</p>					
議会、利用者等からの意見						